

## 吉田家住宅で王位戦

羽生善治王位(王座、棋王、王将)に佐藤康光棋聖が挑戦していた将棋の第46期王位戦(徳島新聞社など主催)7番勝負の第5局が、9月5日と6日にうだつの町並みにある市指定文化財「吉田家住宅」で行われました。

5日の朝、対局場となった吉田家住宅の客室に姿を見せた兩人。張りつめた空気が漂う中、午前9時に立会人の脇謙二・八段が対局開始を告げると、先手番の佐藤棋聖が初手を「7六歩」と指し、2日間にわたる熱戦がスタートしました。

まれに見る激戦となった対局は、6日の午後6時59分、133手までで佐藤棋聖が勝ち、対戦成績を3勝2敗とし、王位獲得に王手をかけました(この後、羽生王位が第6局、7局を制し防衛)。

対局の前日には脇町涓水祥雲閣で約100人のファンを交えた前夜祭が、また6日には同対局の大盤解説が脇町劇場で開かれ、県内の愛好家ら約60人が大一番を見守りました。

県内では徳島市以外での王位戦の対局は初めて。うだつの町並みには、十二世名人・小野五平氏の生家(平田喜一郎氏宅)もあり、将棋にゆかりのある地として、今後も注目されそうです。



▲王位戦第5局で熱戦を展開した羽生王位と佐藤棋聖

## 脇町東(少林寺拳法)が大活躍



▲全日本大会で優秀賞に入賞した拳士

『2005年度全日本少年武道錬成大会』が8月6日、東京・日本武道館で開かれ、美馬市体協に所属する脇町東(伊内章二代表)の18人が優秀賞に入賞しました。

全国から小・中学生約3,000人が参加し、団体演武や自由組演武など15種目で突きやけりなどの技を競いました。各部の入賞者は下記の皆さんです(敬称略)。

【中学生】◆団体の部 平尾智美、平尾直美、佐藤和紗、藤島由暉帆、近藤凌司、國見奈津

【小学生】◆有段団体の部

中西真菜、鎌田夏未、朝倉健斗、藤島隆雅、吉田竜馬、三木康一郎、吉田 悠、近藤雅之

◆3級の部 尾形美紅、上田仁日香

◆5級の部 大西 朱、佐藤昌弘

また脇町東からは、10月9日、10日にサンドーム福井で開催される『2005少林寺拳法国際大会』(少林寺拳法世界連合など主催)に、前述の小学生有段団体の部の入賞者と、下記の皆さん(計14人)が出場します(敬称略)。

◆一般女子3段の部 正木真代、藤岡沙也

◆一般男子2段の部 磯田真司、丸山賢悟

◆男女有段の部 藤岡祐介、國見由佳



▲国際大会に出場する皆さん